



2026年 7 月24日

各 位

会社名	株式会社Will Smart
代表者名	代表取締役社長 石井 康弘
コード番号	175A（東証グロース市場）
問合せ先	コーポレート本部長 兼 社長室長 若林 孝太郎 (TEL 03-3527-2100)

固定資産の取得に関するお知らせ

当社は、2026 年 7 月 24 日開催の取締役会において、以下のとおり、固定資産を取得することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 取得の理由（背景及び目的）

当社は、「移動を支援するテクノロジー企業」として、2026年 3 月25日に公表した「中期経営計画 2030 Beyond 100」において「物流DX」を成長ドライバーの一つに位置づけております。本件は、当該戦略に基づく投資であります。

物流業界では、物流 2 法（改正物流効率化法・貨物自動車運送事業法）の施行や2024年問題を背景に、運行データの記録・可視化が荷主・事業者双方の必須テーマとなっております。当社は、車両の OBD II ポートに接続することで導入でき、煩雑な配線工事を要しない導入容易性と低価格を強みとする OBD II 型デジタル式運行記録計（2025年12月19日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」において販売を決議し、2026年 4 月27日付「（開示事項の経過）新たな事業の開始に関するお知らせ」のとおり「Will-Fleet」の名称で販売を開始）を提供し、これまでコスト面から導入が進みにくかった中小トラック運送事業者への普及拡大を図っております。

当社は中期経営計画において、当該OBD II 型デジタル式運行記録計を、IoTプロダクト基盤（車載デバイス・データベース・業務アプリケーション）を軸とした成長戦略の中核に位置づけております。導入容易性と低価格により車両への設置台数を拡大し、法定記録項目に加えて取得される多様な車両データ（走行・位置・燃費等）を蓄積・活用することで、運行管理システム（FMS）との連携による安全管理・労務管理の高度化にとどまらず、データを起点とした新たな価値の創出（データ活用ビジネスへの展開）を企図しております。

本件は、こうした戦略に基づき、「Will-Fleet」の機能拡充及び対応範囲の拡大に向けたシステム開発を行うものであります。本投資を通じて、製品の利便性向上と継続的な収益機会（ストック収益）の拡大を図るとともに、蓄積される車両データを活用したビジネスへの展開に向けた基盤を強化してまいります。

2. 取得する固定資産の概要

本件で取得する固定資産は、OBDⅡ型デジタル式運行記録計「Will-Fleet」に係るシステム（ソフトウェア等）であり、対応車種・車両範囲の拡大及び運行管理機能（FMS）等の拡充に向けた開発を行うものです。

内容	見込取得価額
Will-Fleet 関連システム	約 16,000 千円

（注）見込取得価額は現時点での想定値であり、開発の進捗状況や仕様の確定等により、実際の取得価額はこの金額と異なる可能性があります。

3. 取得の日程

決定日	2026 年 7 月 24 日
取得（開発）時期	2026 年 7 月以降、順次（2026 年 12 月期中に段階的に取得）

（注）システム開発のフェーズに応じて、段階的に取得いたします。

4. 取得資金の手当て

本件に係る投資資金には、2026年6月1日に払込みが完了した第三者割当による新株式の発行（2026年5月15日付「資本業務提携及び第三者割当による新株式の発行、並びにその他の関係会社及び親会社の異動（見込み）に関するお知らせ」をご参照ください。）により調達した資金を充当いたします。同第三者割当の差引手取概算額444百万円のうち、資金使途として「自社プラットフォームシステム開発・製造・運用保守のための資金」に区分した200百万円（支出予定時期：2026年6月～2027年12月）を、自社プラットフォームへの投資に充当するものであり、本件はその一部であります。

5. 今後の見通し

本件により取得する資産は、ソフトウェア資産として計上いたします。本件が2026年12月期（第15期）の業績予想に与える影響は軽微であります。なお、今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

以 上